

たてばやし

第215号

# 市議会だより

編集：館林市議会報編集委員会

市民の皆さまへお願い♥

手洗いや咳エチケットを徹底し  
引き続き「3密」を避けるように  
してください。



新型コロナウイルス感染症情報はこちら↑

## 9月 定例会

令和2年度館林市  
歳入歳出決算の認定など  
10議案が決まりました

### 主な掲載記事

- 本会議のあらまし …………… 2～3ページ
- 決算特別委員会 …………… 3ページ
- 議員個人の賛否結果一覧表 …… 5ページ
- 一般質問(10人) …………… 6～11ページ
- 常任委員会の審査報告 ……… 12ページ

日本遺産「里沼」茂林寺沼



館林市議会ホームページ

<https://www.city.tatebayashi.gunma.jp/li/gikai/index.html>

# 本会議のあらまし

令和3年館林市議会第3回定例会は、9月3日から22日までの20日間の会期で開かれました。

この定例会に市長から提案された議案等は、追加議案も含め議案9件、報告1件で、審議の結果、いずれも原案のとおり同意、認定、可決されました。

また、議員提出議案1件の審議が行われ、原案のとおり可決されました。

## 人事案件

▽教育委員会委員の任命について  
教育委員会委員の谷田川敏幸さん（台宿町）

の任期が、本年9月30日まで満了となることから、新たに木戸浩之さん（高根町）を任命したいとして、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定により、議会に対し同意を求められたもので、全員一致で同意されました。

## 条例の制定

▽デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関

▽館林市資産等公開審査会条例及び館林市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例  
市民の負担軽減及び利便性の向上を図るため、審査申出書等の書面への押印等を不要とするに当たり、本条例の一部を改正しようとするもので、

全員一致で可決されました。

## その他の議案

▽和解及び損害賠償の額を定めることについて  
平成26年2月28日付け売買契約により、解散した館林市土地開発公社が売却した土地に係る損害賠償請求事件について、前橋地方裁判所からの和解勧告を受けて、訴訟の相手方である株式会社トーモクと和解し、同社が実施した土壌汚染対策工事に係る代金の支払等を内容とする損害賠償の額（5億1910万5000円）を定めるため、地方自治法第96条の規定により、議会に対し議決を求められたもので、賛成多数で可決されました。

## 補正予算

▽令和3年度館林市一般会計補正予算（第4号）  
1億7667万4000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ297億6535万7000円とするもので、全員一致で可決されました。

追加議案  
▽令和3年度館林市一般会計補正予算（第5号）  
1億1910万5000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ302億8446万2000円とするもので、賛成多数で可決されました。

## 報告

▽令和2年度健全化判断比率及び資金不足比率の報告  
地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき判断指標において、まず、実質赤字比率及び連結実質赤字比率については、

実質赤字及び連結実質赤字が黒字であることから赤字比率はなく、次に、実質公

債費比率は5・2%、将来負担比率は94・6%であり、また、公営企業会計における資金不足比率については、資金不足額が生じていないことから資金不足比率はなく、全ての指標において、国の判断基準以下の数値となつておるとの報告がありました。

## 令和2年度決算

▽令和2年度館林市歳入歳出決算の認定について  
一般会計の決算の概要は、最終予算額405億6755万7886円に対し、歳入決算額は396億6848万9069円で、予算に対する収入率は97・78%です。また、歳出決算額は375億8923万4423円で、その執行率は92・66%となり、歳入歳出差引残額は20億7925万4646円となります。このうち、翌年度へ繰り越すべき財源2803万6000円を差し引いた実質収支額は、20億5121万8646円で、このうち16億円を財政調整基

金に充当し、繰り越すべき財源2803万6000円を差し引いた実質収支額は、20億5121万8646円で、このうち16億円を財政調整基

## 条例の改正

係条例の整備に関する条例  
デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律の施行により、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律が改正されたことに伴い、関係条例（館林市個人情報保護条例・館林市個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例・館林市手数料条例）において、引用条文の号ずれを修正するなど所要の改正をしようとするもので、全員一致で可決されました。

金に積立てし、翌年度へ繰り越すべき財源を含む4億7925万4646円を、翌年度へ繰り越しました。

特別会計の決算は、国民健康保険特別会計が、歳入77億3184万1916円、

歳出75億7254万8963円。介護保険特別会計が、

歳入69億6760万9293円、歳出64億7901万

1664円。後期高齢者医療特別会計が、歳入9億7

630万4251円、歳出9億4597万3999円

で、いずれの特別会計も黒字決算となりました。

日本共産党館林市議団から反対討論が、緑水クラブから賛成討論が行われ、採決の結果、賛成多数で認定されました。

▽令和2年度館林市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について 令和2年度の未処分利益剰余金については、当年度純利益1億1591万3554円のうち、8000万円を減債積立金に積み立て、残額の3591万3554円を翌年

度へ繰越利益剰余金として処分することについて、地方公営企業法第32条の規定により、議会に対し議決を求められたもので、全員一致で可決されました。

▽令和2年度館林市下水道事業会計決算の認定について 収益的収支においては、

収入額15億6499万2168円、支出額14億272

6万3674円で、消費税調整後の損益計算書上の純

利益は1億1591万3554円となり、資本的収支

においては、収入額4億787万8956円、支出額

10億1405万9770円で、不足額6億618万8

14円については、損益勘定留保資金等で補てんした

もので、採決の結果、全員一致で認定されました。

### 議員提出議案

▽コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書 新型コロナウィルス感染症のまん延により、地域経済にも大きな影響が及び、地方

財政は来年度においても、引き続き、巨額の財源不足が避けられない厳しい状況に直面している。地方自治

体では、コロナ禍への対応はもとより、地域の防災・

減災、雇用の確保、地球温暖化対策などの喫緊の課題

に迫られているほか、医療介護、子育てをはじめとし

た社会保障関係経費や公共施設の老朽化対策費など将来

に向け増高する財政需要に見合う財源が求められて

いることから、その財源確保のため、5項目からなる

地方税制の充実確保を求め

る意見書を国に対して提出しようとするもので、全員

一致で可決されました。

### その他

▽継続調査について

各常任委員長から、議会閉会中の所管行政調査申請書が提出され、本会議にて各常任委員長の申し出のとおりに承認されました。



## 決算特別委員会

9月6日の本会議で、議員全員による決算特別委員会が設置され、13日から15日までの3日間にわたり審査が行われました。

採決の結果、議案第45号令和2年度館林市歳入歳出決算の認定については賛成多数により、議案第47号令和2年度館林市下水道事業会計決算の認定については全員一致をもって、それぞれ原案のとおり認定すべきものと議決されました。また、議案第46号令和2年度館林市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分については全員一致をもって、原案のとおり可決すべきものと議決されました。

### 総括

急速な少子高齢化の進展に伴い生産年齢人口が減少する一方、社会保障費が増加していく状況において、公共施設等の老朽化対策や頻発・激甚化する自然災害への備え、さらには地域デジタル社会の推進など、様々な課題に対する取組が求められ、依然として厳しい状況にある。このような状況の中、令和2年度においては、国全体で新型コロナウィルス感

染症による甚大な影響を受けた。本市では、国からの交付金などを活用しながら、感染症対策、生活支援対策、経済対策のほか、ウイズコロナ時代に対応した施策を実施するとともに、第五次総合計画の最終年度として、計画に掲げた様々な事業を実施した。

### 主な新規事業

○まちひとしごと創生推進事業  
定住促進通学支援金を創設した。

○地域共生社会体制整備構築事業

地域住民が抱える様々な福祉の課題を受け止める「ふくし総合相談窓口」を開設し、困難事例を解決するための関連機関による相談支援包括化推進会議を立ち上げた。

○都市公園維持管理

近藤沼公園バーベキュー施設整備工事を実施した。



近藤沼公園バーベキューサイト

○防災関係

防災基盤整備のため、防災情報伝達システム整備工事



を実施した。



○教育振興事業及び小中学校施設整備事業

G I G A スクール構想の実現に向け、児童生徒1人1台情報端末の整備及び小中学校における校内LAN改修工事を実施したほか、第二小学校トイレ改修工事、第四中学校屋内運動場大規模改修工事を実施した。



大規模改修工事を実施した第四中学校屋内運動場

○三の丸芸術ホール運営

三の丸芸術ホール特定天井及びホワイエトイレ改修工事を実施した。

### 主な継続事業

○日本遺産推進事業

館林市「日本遺産」推進協議会が実施する普及啓発事業等に対する支援を行った。

○一般廃棄物処理施設整備事業

ストックヤード整備工事が完了した。



清掃センター焼却施設跡地に整備されたたてばやしストックヤード

○金券発行事業

市民への各種補助金等を市内の店舗で使用できる金券で交付し、地域経済の活性化を図った。

○幹線排水路整備事業

準用河川宮田川改修事業は、平成16年度から令和6年度までの21か年継続事業として整備を進めているが、本

年度は護岸築造工事56・2mを実施した。

○中央通り線道路改良事業

平成28年度から令和11年度までの14か年継続事業として群馬県が整備を進めており、本年度は用地1674・71㎡の取得と49件の補償を実施した。

○土地区画整理事業

・西部第一南地区

昭和61年度から令和10年度までの43か年継続事業として整備を進めているが、本年度は西部一号線側溝布設工事125・9m、区画道路改良工事137・0m、1戸2棟の建物移転等を実施した。

・西部第一中地区

平成元年度から令和9年度までの39か年継続事業として整備を進めているが、本年度は西部二号線歩道築造工事30・9m、区画道路改良工事31・9m、4戸4棟の建物移転等を実施した。

・西部第二地区

平成11年度から令和14年度までの34か年継続事業として整備を進めているが、本

年度は学校通り線築造工事44・5m、区画道路改良工事638・6m、12戸20棟の建物移転等を実施した。



西部第二地区学校通り線

○広域防災拠点整備事業  
災害に強いまちづくりを推進するため、広域防災拠点西側広場整備工事を実施した。



水害時・地震時に緊急避難場所として利用できる広域防災拠点西側広場

## 令和2年度 館林市歳入歳出決算総括表

(単位:円)

会計別		区分	歳入決算額	歳出決算額	歳入 歳出 差引残額
一		般 会 計	39,668,489,069	37,589,234,423	2,079,254,646
特別会計		国 民 健 康 保 険	7,731,841,916	7,572,548,963	159,292,953
		介 護 保 険	6,967,609,293	6,479,011,664	488,597,629
		後 期 高 齢 者 医 療	976,304,251	945,973,999	30,330,252
下水道		収 益 的 収 支	1,564,992,168	1,427,263,674	137,728,494
		資 本 的 収 支	407,878,956	1,014,059,770	△ 606,180,814

※ 資本的収支の収支差引不足額606,180,814円については、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、引継金、当年度分損益勘定留保資金で補てんしました。  
なお、この決算額には消費税が含まれています。

## 議員個人の賛否結果一覧表 (令和3年第3回定例会)

議案等名	議席番号 議員名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	結果
		松本隆志	柴田信	平井玲子	今野郷士	川村幸人	斉藤晋一	森田武雄	渋谷理津子	権田昌弘	櫻井正廣	斉藤貢一	篠木正明	吉野高史	遠藤重吉	野村晴三	向井誠	井野口勝則	小林信	
議案第41号	教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
議案第42号	デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第43号	館林市資産等公開審査会条例及び館林市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第44号	和解及び損害賠償の額を定めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第45号	令和2年度館林市歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	認定
議案第46号	令和2年度館林市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第47号	令和2年度館林市下水道事業会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
議案第48号	令和3年度館林市一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第49号	令和3年度館林市一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	原案可決
議員提出議案第2号	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

※野村晴三議長は採決に加わりませんので、「-」となっております。

【○：賛成 ●：反対】

## 市政を問う !!

9月7日

向井 誠 議員 (7ページ)

- 新型コロナウイルス感染症とヤングケアラー支援について
- 新学期にあたっての不登校・自殺防止について

権田 昌弘 議員 (7ページ)

- 新型コロナワクチン接種状況について
- スポーツ競技と既存競技施設の活用について
- 本市の産業政策について

今野 郷士 議員 (8ページ)

- 本市の新型コロナウイルス感染症対策等について
- 老人福祉について ○高齢者の健康寿命延伸について

森田 武雄 議員 (8ページ)

- 本市におけるスポーツ振興について
- 国民スポーツ大会開催に向けての本市の対応について
- 本市のスポーツ環境について

平井 玲子 議員 (9ページ)

- コロナ禍における女性の負担軽減について

齊藤 貢一 議員 (9ページ)

- 本市のまちづくりとコロナ対策について

川村 幸人 議員 (10ページ)

- 渡良瀬川河川敷にある青少年ひろばの整備について

9月8日

小林 信 議員 (10ページ)

- 一般廃棄物ステーションの現状と課題について
- 高齢者等のごみ出し支援について

篠木 正明 議員 (11ページ)

- 地域公共交通網の整備について

吉野 高史 議員 (11ページ)

- 北部第三工業団地について
- 市長就任から5か月が経過したが、見えてきた多くの課題について

# 一般質問

今定例会における一般質問は、9月7日・8日の2日間にわたって行われ、10人の議員が市政全般に対する諸問題について市の所信をただしました。

内容は広範にわたっておりますので、その要旨を掲載いたします。

(本文は質問者本人が要約したものです。)

※一般質問通告書の質問事項を掲載

スマートフォンやタブレットからも視聴できます!

市議会のHPをぜひご覧ください

<https://www.city.tatebayashi.gunma.jp/li/gikai/index.html> 市議会トップページ➡



←ライブ&録画映像配信はこちら

<https://smart.discussvision.net/smart/tenant/tatebayashi/WebView/rd/council.html>

なお、各議員の質問の様子は、次のページからの「二次元コード」を読み取るとご覧いただけます。

会議録の検索はこちら➡

<https://ssp.kaigiroku.net/tenant/tatebayashi/pg/index.html>

市議会だよりは、紙面の都合で本会議の要旨を掲載しています。

詳しくお知りになりたい場合は会議録をご覧ください。

※9月定例会の会議録は、12月上旬に掲載の予定です。





### 新型コロナウイルス感染症と夏休み明けの不登校防止について

向井 誠議員



#### 新型コロナウイルス感染症について

**質問** 自宅療養者の対応は。

**答** 県では8月20日から

健康観察センターを立ち上げ、保健所と連携しながら支援を行っています。

**質問** 自宅療養者への生活

支援はどうなっているのか。

**答** 食品10日分、消毒液、

ごみ袋等を玄関前に配達する

対応をしていきます。

生活必需品の支援を無料で

行っており、現在までに

4件の実績があります。

**質問** 学校で、児童生徒に

陽性者が出た場合の対応は。

**答** 本人の出席停止や保

健所と連携しながら、感染

の範囲に応じて、学級・学

年・学校単位で臨時休業す

る対応をしていきます。



### 新型コロナウイルスワクチン接種状況とスポーツ競技施設、産業政策について

権田 昌弘議員



**質問** 若い世代の感染が拡

がっているが、本市の世代

別のワクチン接種率は。

**答** 8月末時点で、1回

目が10代17・2%、20代

37・2%、30代36・5%、

40代46・2%、50代59・8

%、60代以上84・9%、2

回目が10代2・4%、20代

14・8%、30代14・2%、

40代18・4%、50代26・1

%、60代以上80・1%です。

**質問** 東毛ワクチン接種セ

ンターなどを利用された方

の接種率は。

**答** 東毛ワクチン接種セ

ンター21・7%、県央ワク

チン接種センター6・7%、

自衛隊東京大規模接種セン

ター0・03%となり、この

#### ヤングケアラーについて

**質問** ケアが必要な家族が

いる場合、本来大人が担う

ケア責任を引き受け、サポ

ートをしている18歳未満の

ことだが、これらの支援は。

**答** ヤングケアラーは年

齢、成長の度合いに見合わ

ない重い責任や負担を負っ

ていると認識しており、国

の動向に注意しながら、支

援事業の導入を検討してい

きたいと考えています。

**質問** 不登校の原因の一つ

として、自律神経の調節不

全により、立ちくらみや倦

怠感がおこる起立性調節障

害があるが、その対応は。

**答** 現在、この病気と診

断されている児童生徒が21

人います。教職員が正しく

この病気を理解するための

研修を行い、養護教諭や初

任者研修の中でも取り上げ

ていきたいと考えています。

**質問** 長い夏休み明けから

不登校になる可能性が高い

と思うが、その対応は。

**答** コロナ禍で心に不安

や悩みを抱えている児童生

徒も多いので、夏休み明け

に欠席した児童生徒には、

担任などが電話連絡や家庭

訪問を行い、心配される場

合には、関係職員等でチー

ムをつくり対応しています。

**質問** 不登校の原因の一つ

として、自律神経の調節不

全により、立ちくらみや倦

怠感がおこる起立性調節障

害があるが、その対応は。

**答** 現在、この病気と診

断されている児童生徒が21

人います。教職員が正しく

この病気を理解するための

研修を行い、養護教諭や初

任者研修の中でも取り上げ

ていきたいと考えています。

**質問** 長い夏休み明けから

不登校になる可能性が高い

怠感がおこる起立性調節障

害があるが、その対応は。

**答** 現在、この病気と診

断されている児童生徒が21

人います。教職員が正しく

この病気を理解するための

研修を行い、養護教諭や初

任者研修の中でも取り上げ

ていきたいと考えています。

**質問** 長い夏休み明けから

不登校になる可能性が高い

と思うが、その対応は。

**答** コロナ禍で心に不安

や悩みを抱えている児童生

徒も多いので、夏休み明け

に欠席した児童生徒には、

担任などが電話連絡や家庭



競泳競技が行われる50mの公認プール

**質問** 設置について検討し

ています。他の修繕もある

ため、緊急性と安全性を考

慮し進めたいと考えています。

**質問** ダノン城沼アリーナ

は災害時に避難所として利

用します。空調設備やエレ

ベーターが無く、障がいの

ある方が2階や3階に行く

のは困難だが、対応は。

**答** 国等の補助金を活用

し、整備したいと考えます。

**質問** よりシンプルに売上

減少事業者を対象に支援を

行う考えは。

**答** 「緊急事態措置対応

事業継続支援金」を創設し、

速やかに支援金を支給した

いと考えます。また、負担

なく申請書類を作成できる

よう迅速な支援に努めます。

**質問** 館林IC周辺の開発

で大型商業施設の誘致やア

ーバンスポーツ施設の設置

が産業政策への効果が高い

と思うが、その考えは。

**答** 大型商業施設誘致の

促進に向け調整を進め、「非

日常」的な空間や体験の場

として、土地利用を図って

いきたいと考えます。



©KOMETTO



### 新型コロナウイルス感染症対策等 について問う

今野 郷士 議員



**質問** 小・中学校の児童・生徒の感染者が急増しているが、抗原検査、PCR検査を全ての児童・生徒に行う考えがあるのか伺います。

**答** 本市では、全ての児童・生徒及び園児に1人1回分の抗原検査キットを配布する準備を進めています。抗原検査は一定以上の

ウイルス量が必要なことから、無症状者に対するスクリーニング検査には適さないことなどを考慮し、関係機関と調整の結果、発熱などの症状があり、感染が心配される場合に必要に応じて使用していただくことにしました。

**質問** 新型コロナウイルス

に感染した方が入院できる本市の病院の病床数について、入院が必要になる中等症以上の患者数が、その病床数を上回った場合は、どのような対応をするのか伺います。

**答** 感染者の入院調整は群馬県の病院間調整センターにおいて、入院可能な空き病床を把握し、広域的に調整を行っています。基本的には、患者の居住地から近くの病院で調整していますが、例えば、感染者が子

どもの場合には、小児科のある病院への調整など、病状や診療科目により、感染者に適した病床を効果的に調整していますので、市内の病院が満床であっても、入院ができなくなることはありません。

**質問** 毎日、陽性者の総数が発表されているが、検査の総数は、なぜ、発表しないのか伺います。

**答** 検査については、市町村はデータを把握していませんが、群馬県のホーム

ページに検査数と陽性者数が公表されております。**要望** 自分の住んでいる地域の毎日の検査数を知りたい方が多くいると思います。市民の安心につながることから、情報開示することを要望とします。



### 本市におけるスポーツ振興について

森田 武雄 議員



**質問** 過去に開催した全国規模の大会と、その成果や課題について伺います。

**答** 主にレスリング競技とボート競技が実施されました。レスリング競技は昭和44年に全国高校総体が市民体育館にて、昭和58年にあかぎ国体が城沼総合体育館にて実施され、ボート競

技では平成26年に第7回国マスターズレガッタが城沼にて開催されました。課題としては、城沼総合体育館については空調設備やサブアリーナがないこと、バリアフリー化やエレベーターの設置などがあります。城沼については水深が浅いため、全国規模の大会を

実施するためには、水深の改善が必要となります。

**質問** 2029年に本県で開催予定の第83回国民スポーツ大会における本市の関わりについて伺います。

**答** 市町村競技会の開催意向調査において、レスリング競技とボート競技の調査書を提出しています。

**質問** 県として既に会場地が決定している競技は、いくつかあるのか伺います。

**答** 第1次選定において9市町、12競技が内定して

います。また、未選定競技は26競技あります。

**質問** 市長の選挙公約「館林からアスリートを目指すスポーツ環境の整備を進めます」の中に「多様なスポーツの公式競技仕様の施設を整備します」とあるが、本市のスポーツ施設の現状と課題について伺います。

**答** 本市のスポーツ施設の多くは老朽化が著しく、今後の維持管理が大きな課題です。特に施設の更新、長寿命化は大命題であると

痛感しています。**質問** 市長の選挙公約に「2029年群馬国体のレスリング及びボート競技会場を誘致します」とあるが、いつ頃までに、どこに、どのようなアクションを行えば誘致できるのか、考えを伺います。

**答** 誘致に向けては、競技団体の意向を踏まえて、県や大会関係者と調整を図り、両競技が開催できるように進めていきたいと考えています。





### コロナ禍における 女性の負担軽減について

平井 玲子 議員



#### 生理の貧困

**質問** 長引くコロナ禍で女性の経済的負担、精神的負担が今まで以上に増えたことなどから、生理用品を入手することが困難な状態にある「生理の貧困」問題が顕在化しています。館林市議会公明党として「コロナ禍における女性の負担軽減

に関する緊急要望書」を提出し、生活に困窮している方への生理用品の配布を要望しました。その対応について伺います。

**答** 生理の貧困に直面している女性や子どもたちを支援することを目的として5月10日から一か月間、生理用品の無料配布を実施し

ました。対象者は642人となります。

**質問** 配布に関して、どれほどの利用がありましたか。

**答** 配布人数は284人、配布率は44・2%、約半数の方が交換しました。

**質問** 「女性相談窓口」の相談件数を伺います。

**答** 令和2年度は75件で、この10年間で最も多い件数となりました。令和3年度は8月現在で既に55件となり、年間に換算しますと、100件を超える勢いとな

っています。

**質問** 防災備蓄品としての生理用品の現状について伺います。

**答** 生理用品の防災備蓄は行っていないです。流通備蓄として速やかに供給される体制を構築しています。

しかしながら、応急的な場面を想定しますと、生理用品の備蓄は検討課題の一つと認識しています。

**質問** 群馬県は現在、県立の大学、高校、特別支援学校の全81校で、生理用品の

が確認できるチェック体制の構築を図ります。

**意見** ぜひ市民への見える化も検討していただきたい。

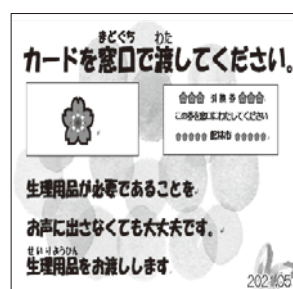
**質問** コロナ感染症について伺います。学童でのクラスタが発生しています。

学童の施設、定員、設備に対する基準は緩やかであり、その中で感染症に対する管理が難しくなっていますが、今後どのような認識で行っていくのか伺います。

**答** 学童は非常に密な状態と認識しています。一人

無償配布を実施しています。本市の小・中学校や公共施設においても生理用品の常設が必要だと思いますが、その考えを伺います。

**答** 試験的に常設することで検討していきたいと考えています。



生理用品配布のお知らせ(抜粋)



### まちづくりと コロナ対策について

斉藤 貢一 議員



#### 質問

将来都市像としての「里沼の息づく次世代へ安心をつなぐ暮らしやすいまち館林」を実現するため、経済・都市分野で基本方針を定めています。これを具現化していくための副市長の役割や関わり方について伺います。

**答** 多くの分野に関する

課題については、新しく都市再生推進本部を設置しました。まちの賑わい再生に向けた組織の中で、本部長として課題解決に向け推進していきます。

**質問** 以前、ふるさと創生雇用資金を活用して行われた「ほんちゃん市場」事業ですが、副市長も商工課長

時代に携わり、現在、市内各組織で重要な立場にいる人たちも多く関わっていますが、補助金を使い切った事業中止となりました。事業の意義や税金の使われ方の認識、チェック体制の不備が原因と考えますが、今後の補助事業等の考え方について伺います。

**答** 都市再生推進本部の中で部長がチェックし、再生方針のロードマップを作成するなど見える化を図り、PDCAサイクルを各部長

当たりの施設面積は1・65㎡となつていますが、コロナ禍の緊急事態にはそぐわないと考えます。現在、国の補助金活用により、加湿空気清浄機、サーキュレーターなどの導入を行うとともに、教育委員会との連携により、学校施設の利用に取り組んでいます。また、幼稚園と保育園のことも園化、保育園の学童クラブ化等を進める中で、より大きな施設面積を確保していきたいと考えます。



### 渡良瀬川河川敷にある 青少年ひろばの整備について

川村 幸人 議員



**質問** 青少年ひろばの利用者からは、過去にどのような要望やご意見があったのか、伺います。

**答** 既存の移動式簡易トイレは老朽化が進み、男性のみならず、特に女性の利用者から、使いづらいという声があることを利用団体から伺っています。

**質問** 今年度の整備事業で移動式トイレの新設工事が決定したが、進捗状況について伺います。

**答** 設置工事のスケジュールについては、施工業者の選定を行い、国や施工業者、利用団体と調整しながら、11月から年度末の渇水時期を予定しています。

**質問** どのような仕様の移動式トイレを予定しているのか伺います。

**答** 現在使用している移動式簡易トイレとは異なり、便槽を地下に埋設し、かつ水道管を直接トイレにつなげることで、固定式の通常の水洗トイレに近い形態であるため、においを抑えたうえで、より衛生的に利用できるものです。完全なバリアフリー対応ではありませんが、現在設置しているトイレのように大きな

段差がないため、高齢者の方や体の不自由な方でも、比較的に利用しやすいものと考えています。

**質問** 多田市長に質問ですが、今回新設するタイプと同様の移動式トイレを今後増設する考えがあるのか伺います。

**答** 利用者の声や利用状況を踏まえながら、必要に応じた対応を検討していきたいと考えています。

**要望** 多田市長の選挙公約の中に、「館林からアスリ



新設を  
予定している  
移動式トイレ

ートを指すスポーツ環境の整備を進めます」とあるのですから、この公約を現実させるためにも、そして、何よりも市民の皆さんのために移動式トイレの増設を強く要望します。



### ごみステーションの現状と課題 高齢者等のごみ出し支援について

小林 信議員



**ごみステーションの改善を**  
**質問** ごみ問題は各行政区とも、環境保健委員さんを中心に努力しています。

一か所の排出世帯が多いゴミステーションでは、収集日にごみがうず高く積み、誰が捨てたのか分からず、また、収集日以外にも捨てられている状況です。

一方、収集ボックスが設置されていて、一か所12世帯くらいのステーションでは、常にごみはみ出していることはありません。一か所の世帯数が多いステーションでは、ごみが散乱し、あふれかえっているなど、ごみの収集をされる作業員の方も大変な思いをしてい

ると思います。一か所に集中しているステーションは改善を検討すべきです。

**分散化によるメリット**

**答** ご指摘のとおり、ステーションを分散化することにより、マナーアップにつながるというメリットが十分考えられます。

適正なごみステーションのあり方については、多様な側面から総合的に検討する必要がありますが、関係する行政区や環境保健委員の皆様などとも連携しながら一つ

一つの課題解決を進めていきたいと考えています。

**高齢世帯への個別収集を**

**質問** ごみ出しについて、高齢世帯にとっては、身近な協力員に対して遠慮があり、支援を受け入れない世帯もあると思います。

市の職員が直接対応することで、安心感が持てると思います。高齢化社会への対応について伺います。

**前橋市等で実施**

**答** 職員が直接高齢者宅に伺い、収集する方法は、

既に前橋市等で週1回程度、登録者の住宅を訪問する形で行っています。

今後につきましては、先進自治体の事例を十分に検討し、関係機関と連携していきたいと考えています。





### 地域公共交通網の整備について

篠木 正明 議員



**質問** 地域公共交通計画を策定しましたが、どのような地域公共交通網を目指していくのですか。

**答** 館林都市圏の1市4町を計画区域として、5年間の計画を策定しました。

バス路線や東武小泉線を各市町の拠点を連絡する広域幹線と位置づけ、市町内は

幹線と結節する生活交通のための支線としてのコミュニティバスや区域型デマンド交通、タクシー等の効果的な活用を検討し、生活交通ネットワークを推進していきます。

**質問** 生活交通ネットワークを推進すると言いますが、市内の公共交通網はどういう

う形になるのですか。

**答** 館林駅を拠点として、市役所とアゼリアモール、厚生病院とアクロス館林を東西の拠点と位置付け、生活交通として路線バスを配置して、車両の小型化、集落内運行や店舗等への乗り入れを実施したいと考えています。これまで市内路線は、渡瀬巡回線と多々良巡回線でしたが、3月から赤羽線が運行されました。今後、13路線まで整備していく計画です。

**質問** 館林市では区域型デマンド交通の導入は検討されなかったのですか。

**答** 館林市においては、デマンド交通を具体的に示しておりませんが、今後、バス以外の交通手段の検討の中で行っていきます。

**質問** 通院等に制限されているタクシー券の用途制限をなくす考えはないのですか。公共交通の補完のためのタクシー券です。バスを利用する人は用途制限がないのですから、タクシー券

だけ用途制限をするのはおかしいのではないですか。

**答** タクシー券制度を見直した中で、用途制限を撤廃するかどうか検討したいと思います。

**質問** 住民アンケート結果には、満足度を高めるために運行本数を増やすことが効果的と書いてありますが、バスの運行本数を増やす考えはないのですか。

**答** 利用者が多ければ検討しなければならぬと思っています。



### 北部第三工業団地について 市長の選挙公約について

吉野 高史 議員



**質問** 和解勧告を受け入れず、市民のために最後まで戦う勇気はないのか。

**答** 遅延損害金を考慮し、和解勧告を受け入れざるを得ないと判断しました。

**要望** 今後、同じ轍を踏まないように契約書等の内容を整備すること。

**質問** 今回は、9月議会の

最重要課題を議員の皆さんと共有したい。最重要課題とは、多田市長の政治運営に対する不満や不安を感じて多くの市民の声です。3月の選挙期間中、多田候補の選挙公約は「合併の推進に当たり板倉町の案を丸のみにする」「給食費を無料にする」と報道されまし

た。6月議会での一般質問の答弁では「丸のみ」発言に対し「言ったおぼえがない」「言ったが言葉足らずでした」「そういう意見を言ってる意見もある」など、答弁が二転三転したことは、議会軽視の発言であると言わざるを得ません。こうした答弁の後、市長から訂正や謝罪の発言があったことは議員の皆さんも記憶に新しいと思います。選挙公約の合併を進めるための給食

費の無料化でした。給食費の負担は、小学生が1人4350円、中学生が5200円で、子どもが2人いる家庭では、給食費の無料化は一月に約1万円、年間では約10万円の負担減となる。給食費の無料化は、子育て世代には生活に直結した最大の関心事であり、小中学生の保護者や祖父母は、それを信じて多田候補に投票した方もいます。実現が困難でありながら、選挙に有利な公約を掲げたのであれ

ば政治倫理の違反が疑われることとなります。選挙公約とは何ですか。

**答** 事前に通告された内容と違うと感じていますので、お答えできません。

**意見等** 答えられないということですが、有権者に政策本位の判断を促すことを目的にして、首長などの候補者が当選後に実行する政策をあらかじめ明確に知らせるための声明書という意味になります。

## 募集

私のベストショット!

### 「市議会だより」の 表紙写真

市民の皆さんに「親しまれ身近に感じることができる市議会だより」を目指し、表紙に掲載する写真を募集しています。

**応募期間** 随時受付

**応募資格** 館林市内に在住もしくは館林市内に通勤、通学されている方

**応募写真** 館林市内で撮影された四季折々の風景、行事など

※応募する際は募集要項(市議会のホームページ)を必ず確認してください。

※詳細については下のQRコードからも見ることができます。

**応募先・問合せ**

議会事務局議事調査係

TEL 47-5163



これまでに表紙に採用された応募写真  
(右:第213号、左:第214号)

## 総務文教

館林市資産等公開審査会  
条例及び館林市固定資産評  
価審査委員会条例の一部を  
改正する条例の議案1件が

付託され、委員から、資産  
等公開審査会への審査請求  
について、過去にどの程度  
の件数があったのか、など  
の質疑がなされ、採決の結  
果は、全員一致をもって、  
原案のとおり可決すべきも  
のと議決されました。

## 市民福祉

市民課より、館林市斎場  
指定管理者の選定について  
の報告がありました。

また、社会福祉課より、  
館林市総合福祉センター指  
定管理者の選定についての  
報告がありました。

## 経済建設

和解及び損害賠償の額を  
定めることについての議案  
1件が付託され、委員から、

## 常任委員会の審査報告

原告が市に負担を求めている金額の妥当性について、和解勧告を受け入れないとした場合どうなるのか、また、今回のような問題が起きないよう今後、どのような対策を考えているのか、などの質疑がなされ、採決の結果は、全員一致をもって、原案のとおり可決すべきものと議決されました。

また、議会から推薦する各種委員会等委員について、館林市市営住宅入居者選考委員会委員に柴田信議員、篠木正明議員、遠藤重吉議員を選出しました。

## 議会傍聴者の皆さまへのお願い

新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐため、傍聴に来られる皆さまにおかれましては、マスクの着用や傍聴席入口において、消毒液による手指の消毒など、感染防止対策にご協力をお願いいたします。

### 【12月定例会の予定】

- 12月 3日(金) 本会議=会期の決定、議案提案説明など
- 6日(月) 本会議=議案に対する質疑、委員会付託など
- 7日(火)・ 8日(水) 本会議=一般質問
- 9日(木)・10日(金) 委員会=常任委員会
- 16日(木) 本会議=表決



☆本会議は午前10時開会予定です。会議の日程、時間等は変更になることもあります。

☆一般質問の通告順位表は、12月1日(水)から市のホームページでご覧いただける予定です。

(<https://www.city.tatebayashi.gunma.jp> ⇒ ページ下部の市議会をクリックしてお入りください。)